

# オリエンタル 自社ブランドの 裁断機を商品化

## 第1弾を 今春発売

「ORI」に  
は社名のほか「オリジナル」「オリジネーター(起源者)」の意味を込めたという。  
機を製造したメーカーとして、品質では他に負けない自信がある。ホームページや展示会などを通じて積極的にアピールしていく」と話している。

ていた。

完成した1号機は幅と奥行きが約50センチ、高さ約90センチの中型。裁断くずの量をランプで知らせる「くず量メーター」や紙詰まり防止機構、くずの飛散防止機構などを備える。設置場所の雰囲気をも工夫した。

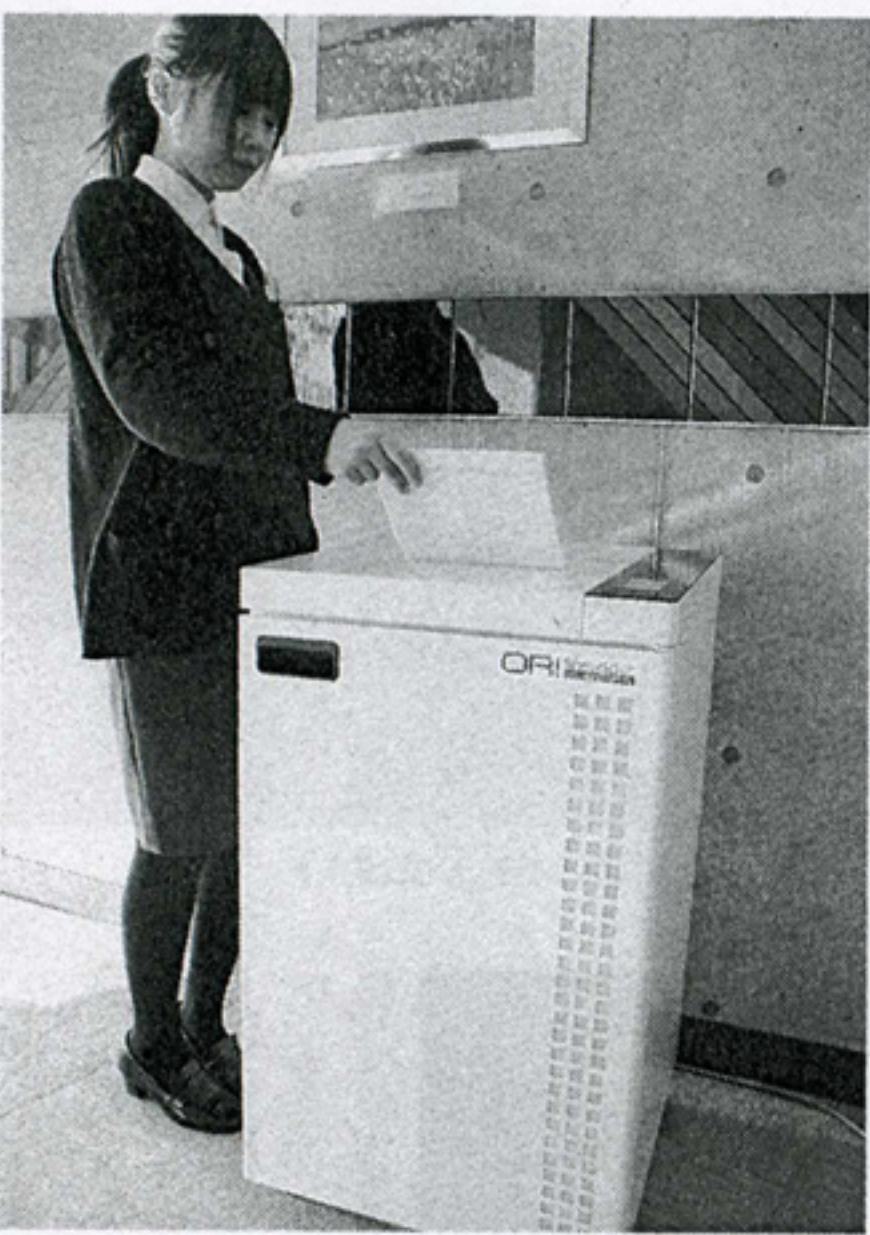
春以降、小型を含めて五つのモデルを投入予定。自社での販売のほか、幅広い顧客からOEMを請け負う考え。  
能澤公擴部長は「当社にとつての第2創業。日本で一番最初に書類裁断

オリエンタル(桐生市相生町三丁目、能澤孝博代表)が自社ブランドの書類裁断機を初めて商品化した。同社は国内で初めて書類裁断機を開発したメーカーだが、これまではOEM(相手先ブランドによる生産)に特化していた。第1弾を今春に発売する予定。日本初のメーカーであることをアピールし、知名度向上を図っていく。

### 国内初の開発メーカーアピール

### 知名度向上図る

同社は1959年(昭和34年)から書類裁断機の製造を手掛け、5割近いシェアを有する。半世紀にわたりOEM専門で



デザインと機能を両立した「ORIシュレッダー」の1号機

から独自商品の開発を進め